

## 建設技術フェア2013in中部の概要

今年17回目を迎えた建設技術フェアin中部は、今回から吹上ホールへ会場を移して開催し、盛況のうち終了しました。

### ① 開催概要

開催日時	平成25年10月24日(木)・25日(金) 2日間
開催場所	吹上ホール(名古屋市中小企業振興会館)
天候	25日・26日とも くもり一時雨

### ② 出展者数及び出展技術数

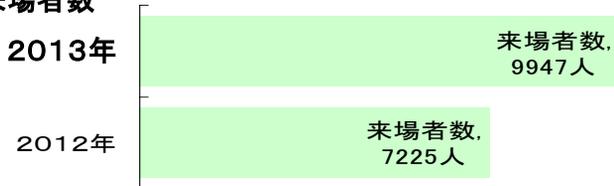
	2012年	2013年	前年比
出展者数(者)	138	174	36者の増
出展技術数(技術)	145	178	33技術の増

### ③ 出展技術の分野別内訳

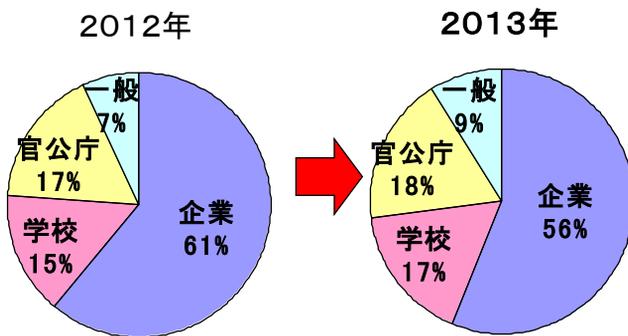
出展分野	技術数	割合
■ 防災・災害対策	63	36%
■ 維持管理・長寿命化	45	25%
■ コスト縮減	13	7%
■ 環境・リサイクル	29	16%
■ 施工	28	16%
計	178	

## 来場者

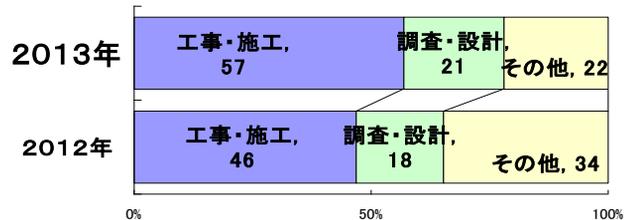
### ① 来場者数



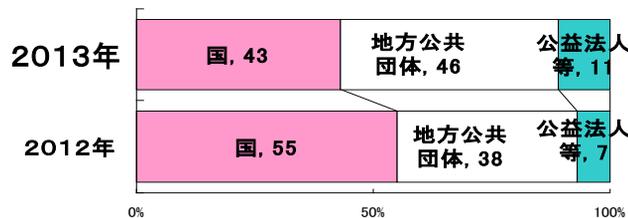
### ② 来場者の内訳



### ②-1 企業からの来場者内訳 (%)



### ②-2 官公庁からの来場者内訳 (%)



## 開催の様子



特別講演

日時：10月25日（金）13：30～15：00  
 場所：メインホール（吹上ホールと同施設内）  
 演題：「巨大自然災害発生！ その時私は何ができる」  
 講師：岐阜大学 工学部 教授  
 岐阜大学 社会資本アセットマネジメント技術研究センター長  
 高木 朗義（たかぎ あきよし）氏



高木 朗義 氏

学生交流ひろば



大学、高専、高校から約750人の学生が集まり、先輩技術者と交流しました。

道の駅miniフェア



普段は現地でしか手に入らないものが並び、多くの方で賑わいました。

園児による絵画展

ちびっ子カメラマンコンテスト



子供達の視点による、道路や河川、災害対策に関する写真や絵を展示し、来場された皆様にご覧いただきました。

出展技術プレゼンテーション



ホール内の2会場合わせて約1500人の方が技術説明を聴講しました。

体験・展示コーナー



▲地震体験



▲浸水時のドア開閉体験



▲降雨体験



▲高所点検体験

約1400人の方々に、普段できない体験や車面に触れていただき、防災や維持管理の重要性をご理解いただきました。



▲ハンディ型地中レーダ探査機の展示



▲災害対策車の展示